

平成23年度科学・技術関係予算についての意見募集結果  
(28101：気候変動に対応したゲリラ豪雨（局地的大雨）対策に関する研究）

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	2件
改善・見直しをした上で推進すべき	1件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	3件

【主なご意見】

昨今の局地的大雨の発生は、都市洪水など様々な被害をもたらしており、これらを研究し、予測、被害の低減に資する設備の設置などは、社会インフラとして重要であるため、積極的に推進すべきである。

ゲリラ豪雨対策が喫緊の課題であることは理解するが、異常気候に関わり国土、都市生活の安全に関わる問題はこれだけではない。あまりに縦割りの施策といわざるを得ない。日本の自然災害に対する耐力をどう強化するのかという視点で見直すべきではないか